

先月、首都圏から東北に來られた皆さまと、岩手県沿岸部から仙台まで、車で往復する機会がありました。

整備されつつある沿岸部を経由し、五時間あまり。仙台宮城インターチェンジに差し掛かった辺りで「あそこに見える地域は、山津波でかなりの被害がでた団地で、いまだ小学校も仮設なのですよ」と説明すると、びっくりされました。震災で沿岸部以外にも大きな被害があったことを、あまりご存じなかったのだそうです。

仙台市内では、沿岸部だけではなく、山手の地

仙台市経済局
産業振興課創造産業係長
中西百合さん



仙台・山手に残る爪痕

域でも、集団移転を余儀なくされているエリアがあるのが現状です。

「仙台の街なかには、地震の爪痕がなくなつて、復興している」と言われることも多いのですが、

域でも多くの店舗が廃業

を余儀なくされてしまつたりしたことを説明すると、驚かれます。

動により、経済局に配属になりました。担当したのは、東北の企業や起業

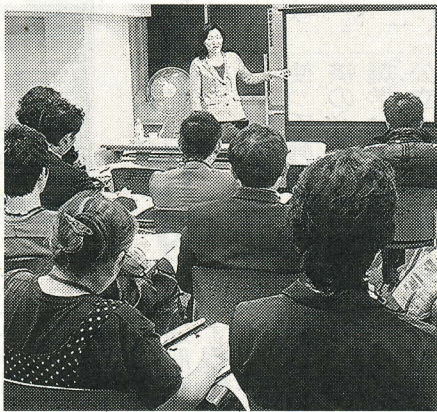
を多岐にわたる支援する事業です。起業家育成スクール「写真」や各種セミナー、相談会などを開催し、延べ二千人の方が参加されました。

高齡化、過疎化、環境問題…。東北が今直面しているのは、他の地域でも、これから直面する課題です。東北の地で、どうやってその課題に取り組む、未来をつくっていくのか、ぜひ、全国から注目し、応援していただきたいと思ひます。

この一年間に、本当に多くの復興に尽力している方々に、出会うことができました。震災に負けない、むしろ震災によって気づかされたことを「強みに」変えて、東北から世界に向かってアクションしていきたい。

東北復興日記

39



この連載は、東京のNPO法人「女子教育奨励会」と、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結核プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。

この連載は、東京のNPO法人「女子教育奨励会」と、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結核プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。